



わくわく 田原っ子 Part II

令和5年度 学校地域教育目標

やさしく、かしこく、たくましい「山坂達者な田原っ子」の育成

～心豊かでたくましく、自ら考え主体的に行動する子どもを育てる～

学校スローガン ◎自他を大切にしよう ◎考え進んでやってみよう ◎最後までがんばろう

新たな気持ちで、2学期をスタート

皆さん、どんな夏休みを過ごされたでしょうか？今年の夏も暑かったですね。そのような中、地域行事や子ども会行事でも保護者様や地域の方が、子どもたちのために汗を流しながら活動されている様子を拝見し、頭の下がる思いでした。おかげさまで子どもたちの笑顔や喜ぶ姿がたくさん見られ、こちらも幸せな気持ちになりましたし、子どもたちは、地域での素敵な夏の思い出がまたひとつ増えたことでしょう。

いよいよ今日から2学期がスタートします。一年で一番長い学期です。子どもたちには、確かな学力、やさしい心、健やかな体、知・徳・体をさらに伸ばしていきたいです。各学年、全校の行事も次々にあります。一つ一つの行事をただ過ごすのではなく、ひとつの行事で、どのような資質・能力を子どもたちにつけていくのか。また、学校教育目標でもある「自ら考え主体的に行動できる」ために、教師側はどのように支えていけばよいのかを常に考えながら、今学期も「チーム田原」で努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様方の教育活動へのご理解とご協力、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今日の始業式の校長講話で、子どもたちには『課題を見つけて、行動にうつす』という話をしました。私が夏休みに参加した研修会で、講師がされた話を交え、子どもたちに「2学期、特に頑張ってもらいたいこと」として話しました。以下に記します。

☆☆☆【始業式 校長講話】☆☆☆

今年の夏休みも38度前後の厳しい暑さが続きました。ハワイのマウイ島では、暑い日が続き空気が乾燥したことで、大規模な火災となり、町全体が焼け、多くの方が行方不明や亡くなってしまったという大変なことが起こりました。日本列島には台風が2つ上陸し、被害に遭われた方もいます。楽しい夏休みが、大変な夏休みになったところもあります。

さて、皆さん、38日間の夏休みはいかがでしたか？しっかり遊んで、勉強もして、日頃やれなかったことを楽しむことができたでしょうか？

ここで、校長先生が1学期終業式でお話したことをたずねます。できた人、だいたいできた人は手を挙げてください。

①家族の一員として、自分のできることを探し、それを続けることができましたか？

②いつもはできないことをやったり 見たり 聞いたり できましたか？

それぞれに心に残る夏休みとなったことでしょう。先生は、夏休みに「球磨川鉄道」の社長さん、永江 友二さんの話を聞くことができました。その話を少しします。「課題を見つけて、行動にうつす」という話です。

球磨川鉄道は人吉から湯前を結ぶ鉄道です。今、この社長さんは火曜日～金曜日は人吉駅前美容師をされて、土曜、日曜は球磨川鉄道の社長をされています。人吉に生まれ育った永江さんは、熊本県外で美容師の勉強をされ、長年、都会で美容師をされて、やっと地元人吉に戻ってこられたそうです。ある日、いろいろな方から「球磨川鉄道の社長をしてくれないか」とお願いされたそうですが、「赤字路線の社長なんて自分にはできない。会社をたてなおすなんてできない。」と思い、ずっと断っていたそうです。しかし、ある人から、「みんな、誰にでも社長になってくださいと声をかけているわけではないよ。鉄道会社の社長なんて、なろうと思っても誰でも簡単になれるわけではないよ。町のみんなで応援するから、やってみたら？」と声をかけられ「その通りだな。断る理由を探すより、やれる理由を考えよう。」と思い、社長になったそうです。しかし、社長になってから、「お金のない会社をどう立て直そうか」と思っていた矢先に2020年の7月の豪雨水害で、球磨川鉄道は、線路に土砂が流れ込んだり、鉄橋が流失したり、車両が水没したりと甚大な被害を受けました。

球磨川鉄道は「地域の人々の足」としての機能が大きいのです。特に4つの高校が球磨川鉄道の路線にあるため、高校生850人の通学になくてはならない鉄道なのです。永江さんは高校生が学校で勉強を続けられるようにと考えます。お金のない球磨川鉄道なのに、永江社長は水没した5つの車両を2000万円かけて修理をし、橋が流されて通学できなくなった高校生のために熊本県や国の支援でバスを運行してもらったなど、多くの方に協力していただいたそうです。また、東北で被害を受けた三陸鉄道をはじめとする全国の鉄道仲間、ファン、球磨川鉄道を高校時代に使っていた方など、いろいろな方からいろいろな形で支援が届いたそうです。そして、一部のレールは使えるようになったので、4つの高校の行事や部活動の終わる時間を調べ、その時間帯の便数を増やすなどの努力をしているそうです。

今の永江さんの気持ちは、「一日も早く元のように戻すことも自分の使命だけれど、球磨川鉄道は平成元年から始まって、ずっと赤字続き。少子化も進むことで、赤字が増えていく中で、復活したあと、そこからどうやっていくのか、どのようにして続けていくのか地域の人みんなを守って地域を衰退させないことが大切。」と語っているそうです。地域の未来を描きながらの復旧復興が大切なんだと力強くおっしゃいました。

現在は、多くの人に球磨川鉄道の現状を知ってもらい、列車に乗ってもらうため、そして寄付をしていただくために、鉄道が走れない部分をそのままにはせず、線路の上をマウンテンバイクで走るアクティビティ「くまチャリ」を始めたり、人吉や球磨川の美しい景色や、鉄道の魅力をYouTubeで配信したり、鉄道や駅のスタンプを集めていき楽しんでもらうために「鉄印帳」を考え、売り出したり、TVの取材やいろいろな番組に出演したり、同級生の「ウっちゃん」や、鉄道マニアの「かめきちさん」等にも支えていただいているそうです。2025年には全線開通になるそうです。皆さんも是非、いろいろな人の思いを乗せて走る球磨川鉄道をつかってみてください。

さあ今日から2学期が始まります。運動会や見学旅行、修学旅行、学校保健委員会、人権集会、総合的な学習の時間でも体験的な学習があります。行事も多いですし、学習する内容も少しずつ難しくなっていく中、新しいことを学んでいきます。そういった中、目の前には、大変なことや、きついこと、分からないこと、課題がたくさん出てくることでしょう。そんな時「あーわからないから止めた」とか「きついから、面倒だから、他の人にたのもう」とか自分自身から逃げるのではなく、球磨川鉄道の永江社長のように、「何ができていないのか、何が今、必要なのか」と課題を見つけて、それをよくしていくために、どんなことができるのかを考え、やれることからどんどんやってみてください。そして、そこに周りの人が関わり協力していくと、他の考え方も加わり、早く、楽しく、よい方向に進められることでしょう。

田原小の学校スローガン「自他を大切にしよう！」「考え進んでやってみよう！」「最後までがんばろう！」を2学期も頑張ってもらいたい。

子どもたちがわくわくするような学校生活を送れるよう、2学期も教職員一同、努めてまいります。よろしくお願いいたします。